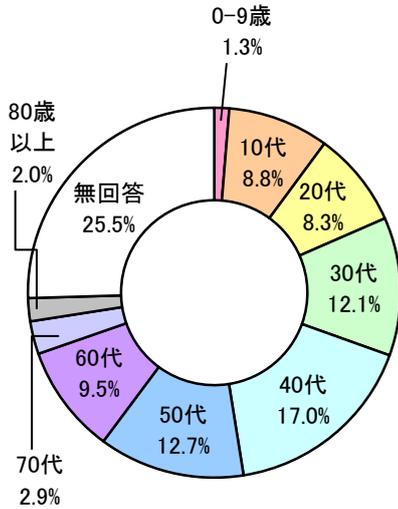


2014年日中韓国立博物館合同企画特別展 「東アジアの華 陶磁名品展」アンケート集計結果

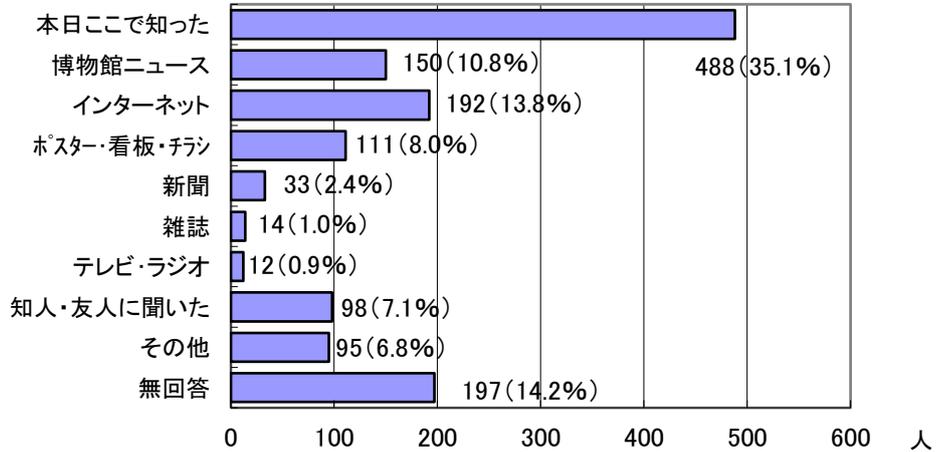
開催期間：平成26年9月20日（土）～ 11月24日（月・休）（57日間）

回答者数：1,390人（総入館者数：65,075人 アンケート回収率：2.14%）

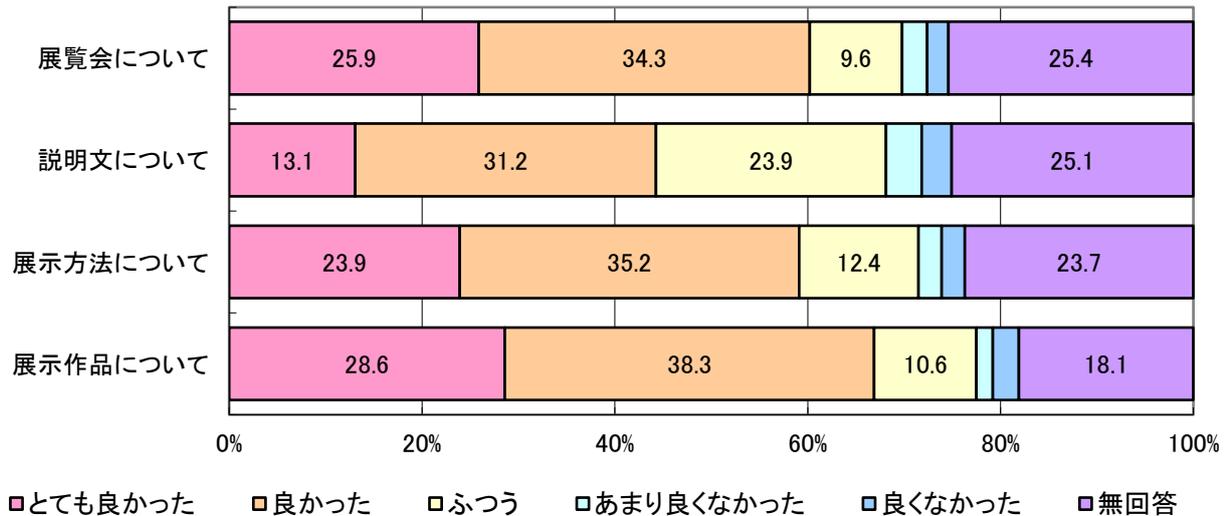
①アンケート回答年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・3カ国の陶磁を比較して見られるという展示テーマがよかった。
- ・「黒楽茶碗 銘ムギ栗」「火焰型土器」「三彩馬」「家形容器」がよかった。
- ・もう一度見に来たい。またこのような企画が見たい。
- ・陶磁器をとおして3カ国の文化・歴史に触れ、大変勉強になった。
- ・名品ぞろいで見応えがあった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	2.6	2.2
説明文	3.7	3.1
展示方法	2.4	2.4
展示作品	1.7	2.7

(%)

本展覧会は、日本、中国、韓国の3カ国を代表する国立博物館の館長会議において、3カ国の文化財を通じた連携強化を図る取り組みの一つです。この度、3カ国による初めての国際合同で実施する初めての国際共同企画展を東京国立博物館で開催いたしました。中国は中国国家博物館、韓国は韓国国立中央博物館の所蔵品、日本からは東京国立博物館の所蔵・寄託品と文化庁の所蔵品を各国15件ずつ、あわせて45件が出品されました。各館の陶磁器コレクションの特徴をふまえて厳選された名品が一堂に会した本展には、6万人を超えるお客様にご来場いただきました。

アンケートの結果、60%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「3カ国の歴史的背景や比較についての説明が足りない」「関連作品が展示されている東洋館への案内が足りない」といったご意見もいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。